

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	さいたま市老人福祉センター武蔵浦和荘
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市南区別所7-20-1</p> <p>②施設の設置目的 高齢者に対して各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションの便宜を総合的に供与するため</p> <p>③施設の概要 ホール、集会室、多目的室、窯室、リフレッシュスペース、相談室</p>
(3)指定管理者	オーエンス・アイルグループ
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度 14,932千円 令和2年度 14,990千円 令和3年度 14,495千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数 7,491人(前年度 4,660人) ・稼働率 54%(前年度 45%) <p>◇業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体への部屋貸し: 200件、1,529名 (前年度) 108件、864名 ・リフレッシュルーム利用: 4,249名(囲碁1,906名、将棋2,343名) (前年度)2,766名(囲碁1,268名、将棋1,498名) ・卓球利用者: 188名 (前年度) 256名 ・ラジオ体操利用者: 3,973名 (前年度) 2,330名 <p>②維持管理業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛沫防止具を作成し、囲碁・将棋のテーブル間に設置しました。 ・常時窓を開けて換気を行いました。その際、窓に網を張ることで、窓からのピンポン玉等の落下を防止するようにしました。 ・職員の検温記録表を作成し、毎日記録しました。 ・新型コロナウイルス感染防止の為、消毒チェックリストを作成し、朝・昼・夕に共有スペースや共有物等の消毒作業を実施しました。 <p>③その他の業務</p> <p>SDGsへの取組みとして、陶芸で発生する粘土の削りカスの再利用を行っています。(削りカスを水で溶かして、徐々に乾かして利用する) (SDGs17の目標のうち『目標12: つくる責任 つかう責任』への取組み)</p>
(6)収支状況	<p>①収入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用料金収入 24千円 (前年度 14千円) ・指定管理料 14,495千円 (前年度 14,990千円) <p>②支出</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人件費 9,072千円 (前年度 8,746千円) ・事務費 3,047千円 (前年度 1,600千円) ・施設管理費 2,172千円 (前年度 4,062千円) <p>【自主事業】</p> <p>①収入 573千円(前年度 307千円)</p> <p>②支出 800千円(前年度 465千円)</p>

(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>日常寄せられた利用者からのご意見・ご要望等は内容を記録し、スタッフ間で共有をしています。またご意見・ご要望への対策・対応を含めて記載した一覧表を、施設の受付付近に常時掲示するようにしています。</p> <p>【令和3年度の対応例】 建設当初から窓に『危険窓を開けないでください』と表記したシールが貼ってあったが、コロナ対策を目的に『換気の為、窓を開けることがあります』と貼紙をしたところ、利用者様から「窓を開けて良いのか悪いのか解らない」というをいただいた。『危険窓を開けないでください』の表記を目隠しすることで対応しました。</p>
(8)その他	<p>サウスピア3階の掲示板に、持ち帰り用チラシラックを作成し『シニアふれあいセンターサウスピアだより』を設置することで、多くの方に広報できるようにしました。利用者様にとっては、チラシのために7階まで足を運ぶ必要がなくなり、利便性も向上しました。</p>

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
①健康増進	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ対策を万全に行う事で、ラジオ体操の参加者数の維持を図りました。 ラジオ体操の参加者が多い時は、7階保健センターさんの許可を得た上で、エレベーター前の共有スペースも体操スペースとして活用しました。 ラジオ体操利用者： 3,973名(前年度2,330名) ラジオ体操1日当たり平均参加者： 13.4名(前年度12.8名) ・ コロナ対策の為、事業回数・定員とも予定通り実施できませんでしたが、利用者様からのご理解のご意見をいただき感謝しております。
②教養の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化系教室もコロナ対策の為、事業回数・定員とも予定通り実施できませんでしたが、利用者様からのご理解をいただき感謝しております。 ※陶芸教室は講師が都内在住のうえ、指導の際に参加者との距離が近くなる為、講師からの希望により他の事業よりも再開が遅くなりました。 ※民謡教室は感染リスクが高いと考え、再開が他の事業より遅くなりました。
③レクリエーションの便宜の供与	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍でも安心して囲碁・将棋が出来るよう、引続き飛沫防止具の使用と、窓の開放による換気、共有物の都度消毒を実施しました。また、スタッフによる施設内巡回を行い、マスク常時着用をお願いを適宜呼びかけることで、安全なレクリエーション環境が提供できるように心掛けました。
④積極的な情報公開により、透明性を確保する	<ul style="list-style-type: none"> ・ 『皆様のご意見・ご要望対応一覧表』を受付付近に掲示しています。 ・ 『利用者満足度調査結果報告書』をテレビ横のラックに設置し、利用者様がいつでも閲覧できるようにしています。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

- 1、新型コロナウイルス対策を最優先した施設運営を行いました。
 - ① 臨時休館・営業時間短縮・事業中止・団体利用の中止等の広報活動の徹底
・ホームページでのご案内
・7階入口の掲示を始め、1階と3階にも掲示をするようにしました。
 - ② 職員の検温記録表を作成し、毎日記録しました。
 - ③ 朝・昼・夕に実施する、共有スペースやスリッパ・筆記具等の消毒チェックリストを作成し、記録しました。
- 2、団体利用の受付簿を、団体構成員の名前を予め記載したものに改善しました。その結果、団体構成員による署名の必要がなくなり、マスク着用・風邪症状の有無・発熱の有無の項目にチェックを入れるのみで受付が出来るようになりました。
- 3、団体利用の抽選において、公平性を保つことを目的に、写真にて記録をとるようにしました。近隣の公民館が工事により休館となる予定であり、団体利用が増えることが予想される為、来年度も同様の手法にて抽選を実施していきます。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A~D

- (1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価
・公平性の確保のための団体利用の抽選時の記録や、利用促進や利便性向上のため、併設施設内でのチラシの配下や掲示をするなどの取り組みを評価した。
- (2)「経費の削減」に対する評価
・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。
- (3)「適正な管理運営の確保」に対する評価
・新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底し、ガイドラインに即した施設の管理・運営を実施したことを評価した。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。